

平成24年7月12日

各位

岩手大学農学部動物科学課程准教授又は助教候補者（女性限定）の公募について

岩手大学農学部動物科学課程
准教授又は助教選考委員会
委員長 喜多 一美

謹啓

時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さてこの度、本学農学部では動物科学課程准教授又は助教候補者（女性限定）を下記の要領で公募することとなりました。適任な方がおられましたら、ご応募頂くようご周知頂きたくお願い申し上げます。

敬白

記

1. 動物科学課程の概要

動物科学課程は農学生命課程、応用生物化学課程、共生環境課程、共同獣医学科と共に農学部の5課程・学科を構成しています。動物科学課程の定員は教授4名、准教授4名、助教1名です。本課程の教育研究理念は、産業動物、実験動物、展示動物、野生動物などを対象として、動物の生態や機能について知識や技術を教授し、動物科学全般に関する基礎的並びに応用的研究を推進し、その成果をもって地域特性や環境保全に配慮した動物生産並びに動物関連産業に貢献できる人材を育成することです。そのために、本課程では動物遺伝育種学分野、家畜繁殖学分野、動物生殖工学分野、家畜生産生理学分野、家畜飼養学分野、動物栄養機能学分野、動物管理学分野、動物資源利用学分野の教育研究体制（専門分野）をとっています。

2. 選考方針

今回の選考は女性限定で准教授又は助教1名を補充するもので、准教授又は助教としてふさわしい研究業績並びに人格を有する方で次の諸項を満たす人材が望まれます。

- (1) 博士の学位を有する方
- (2) 動物科学分野に関する知識と研究能力を備え学生の教育と研究指導を行い得る方
- (3) 大学及び学部運営にも貢献し得る方

3. 公募する教員の所属、専門分野、職位、性別及び人数

- (1) 所属：農学部動物科学課程
- (2) 専門分野：動物科学に関連すれば専門は問いません（上記専門分野以外でも可）
- (3) 職位：准教授又は助教（職位は選考過程により決定します）
- (4) 性別及び人数：女性1名

4. 予定担当授業科目

- (1) 学部：(1)ご自身の主体的専門講義科目（相談の上決定します）、(2)動物科学総論（分担）、(3)動物科学実験（分担）、（4）全学共通教育科目（分担）
(2) 大学院：担当科目は相談の上決定します

5. 任用時期：平成24年11月1日予定

6. 提出書類（応募書類は原則として返却しません）

- (1) 履歴書（写真貼付、署名・捺印、E-mail アドレス記載）
(2) 研究業績一覧（別紙様式の通り）
(3) 主要な論文5編の別刷り（コピー可）
(4) 主な研究概要（2,000字程度）
(5) 赴任後担当できる専門講義科目名1つとその講義内容
(6) 教育に対する抱負（1,000字程度）
(7) 研究に対する抱負（1,000字程度）
(8) 研究代表者として過去に得た研究資金の獲得状況

7. 応募締切：平成24年8月31日必着

8. 選考方法：公募書類による選考を行い、必要に応じて面接を行います。
（面接を行う場合、旅費は応募者の自己負担となります。）

9. 提出先（問い合わせ）

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8

岩手大学農学部動物科学課程准教授又は助教選考委員会委員長 喜多 一美

TEL: 019-621-6163

E-mail: kitak@iwate-u.ac.jp

（封筒の表に、「動物科学課程准教授又は助教応募」と朱書し、書留郵便にてお送り下さい。）

岩手大学は男女共同参画を推進しています。両住まい手当制度や子育て・介護中の研究者に対する支援策等についてはこちら（www.iwate-u.ac.jp/gender/）をご覧ください。

以上

「研究業績」の作成について（2007. 4）

農学部教員人事委員会

研究業績は、A4判の用紙に A. 著書・訳書、B. 学位論文、C. 総説・論説、D. 原著論文 (a) 学術雑誌*¹、(b) 紀要*²、(c) プロシーディングス、E. その他*³、F. 報告書・事業報告書等*⁴、G. 特許・設計等、H. 国際学会発表*⁵、I. 国内学会発表*⁵の順に、下記の例を参考にして作成してください。例えば総説・論説がない場合は、C. 原著論文のように繰り上げてください。マージンは左右上下約3cmに設定し、1行35～40字で40行程度（日本文の場合フォントのサイズは10.5～12程度）にしてください。

- *1：学会誌、国際誌等を年代順に記載する。
- *2：試験場報告、研究所報告等を含む。
- *3：商業雑誌、資料等に記載する。
- *4：調査報告書、科学研究費報告書、事業報告書等に記載する。
- *5：最近5ヵ年について記載する。（教授選考の場合、I. 国内学会発表は不要）
- *6：著者名にアンダーラインを付け、コレスポンディングオーサーあるいは筆頭著者とイコールコントリビューションの場合は二重のアンダーラインを付ける。ただし論文にその記載がある場合に限る。
- *7：英文で著者名を記載する場合は、下記のようにする。
 1. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)
- *8：学名にはアンダーラインをつけるか、またはイタリックで記載する。
- *9：論文番号は全角、英数字は半角にする。また、巻数はボールド（太字）とする。
- *10：Journal は略記する。
- *11：発行又は発表予定として記載可能なのは in press か accepted のみとする。

〈記載例〉

研 究 業 績 (著書・学術論文等)

A. 著書・訳書

1. 岩手一郎 (単著) (1990)
農学について. ○○出版社, 東京, 100p.
2. 岩手一郎 (分担執筆) (1991)
北上山地における畜産業, 「岩手の農業」(大学太郎, 学部一郎編), △△堂, 盛岡, pp. 10-20.
3. 岩手一郎 (分担翻訳) (1992)

トウモロコシ, 「アメリカの農業」 (A. B. Carter 著, 大学太郎監訳), ◇◇社, 東京, pp. 20-30.

4. Iwate, I. and Morioka, J. (分担執筆) (1993)
Agriculture in Japan, "Agricultural Sciences" (Eds.: D. E. F. Green and H. I. James), Bio Press, London, pp. 20-30.

B. 学位論文

1. 岩手一郎 (1980)
XYZに関する研究. [◇◇学修士または修士 (◇◇学) ○○大学]
2. 岩手一郎 (1983)
ABCに関する研究. [◇◇学博士または博士 (◇◇学) ○○大学]

C. 総説・論説

1. 岩手一郎 (1994)
岩手における野生動物の分布. 岩手の自然 No.3 : 1-5.
2. 岩手一郎, 盛岡次郎 (1995)
岩手山の植物分布. 岩手植物誌 15 : 215-220.

D. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. 岩手一郎 (1985)
岩手の野生動物に関する研究. 日動学誌 5 : 15-20.
2. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)
Distribution of wild animals in Iwate Prefecture. Jpn. J. Anim. Sci. 20 : 100-105.
3. Iwate, I. (1990)
Calcium metabolism in laying Japanese quail (*Coturnix coturnix japonica*). Jpn. Avian Physiol. 25 : 15-20.

(b) 紀要

1. 岩手一郎 (1985)
トウホクヤマネズミの生態について. 岩手大農報 17 : 30-40.

(c) プロシーディングス

1. Iwate, I., Morioka, J. and Akita, N. (1995)
Mode of life of Japanese macaques in northern Japan. Proc. 5th Int. Cong. of Wild Animals, Berlin, pp. 101-102.

E. その他

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1990)

北上山系におけるニホンカモシカの生態調査. 野生動物 No.125 : pp. 35-45.

F. 報告書・事業報告書等

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1993)

イヌワシのPCB汚染. 自然動物調査報告 (△△県), pp. 10-11.

G. 特許・設計等

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1993)

イヌワシ捕獲装置 特許第 1234567 号

H. 国際学会発表 (最近5か年)

1. Morioka, J. and Iwate, I. (1996)

Ecological study of wild animals in Japan. 5th Int. Anim. Ecol., New York.

I. 国内学会発表 (最近5か年)

1. 岩手一郎, 盛岡次郎 (1997)

岩手の野生動物. 第100回日本野生動物学会講演要旨 : 25-26.